

圏央道 ゾーン

暮らしやすさ
特長とヒミツ

車でラクラク、広域へ
多彩なビュースポットもすぐそこ



進化する注目ゾーン!
遊びスポットも
住宅地も気になるわ



ゾーンをまたいで人気の遊びスポットが集まります。「マザー牧場」(富津市)の桃色のペチュニアは6月～10月頃が見ごろ

千葉県の東部・西部を圏央道が結ぶ広いゾーンで、17市町村が含まれます。東西の交流が進み、暮らしやすさがアップ! 電車を使い千葉市や都内への通勤・通学も、東京湾アクアラインを利用して京浜地域への車通勤も可能ですよ。

海、里山や森。地域の色を生かしたレジャー・ビュースポットも多くて、車があればさらにラクに暮らしを彩ることができそう。稲作、園芸、酪農も盛んで、新鮮食材も手に入ります。のびのび楽しく暮らせるから、アクティブな家族にもぴったりです。

東京駅への高速バスアクセス
木更津駅から(アクアライン利用)…約1時間

便利なカーアクセス

圏央道は、首都圏の混雑緩和、地域活性を目的に計画。都心を中心に円を描くように作られている環状道路です。完成すると東京湾アクアラインと一体化し木更津から成田へ、また首都圏を結んで、このゾーンはさらに盛り上がりそう!



イベントも楽しみ♪

新しいまちも 商業施設も 整備が進んでいます

東京湾アクアラインは、東京湾を横断して神奈川県川崎市と木更津市をつなぐ高速道路。ゾーンではその人の流れを取り込む地域づくりが進行中で、にぎわいが生まれ、移住者にとっても心強い!

- 1 木更津市の「みなとまち木更津再生プロジェクト」。2014年には国内最大級の敷地面積の「イオンモール木更津」が誕生
- 2 スケールアップを続ける「三井アウトレットパーク 木更津」(木更津市)の周辺でも開発が進みます
- 3 「かずさDNA研究所」などの研究開発施設のほか、産業の集積が進む「かずさアカデミアパーク」(木更津市・君津市)



めっちゃ
ゆったり
過ごせるやん



つながりにホッとする！ 地域のお祭り・イベントへ

地域に根ざすお祭りから、移住者が立ち上げたイベントまで。参加するだけでなく、準備する側になってみたり、つながりができるのも魅力です。

- ❶ 好評の「ちばアクアラインマラソン」は、爽やかな風を感じながら、海の上を走るコースが魅力!
- ❷ 「房総どまんなかおへそ祭り」(長柄町)は移住者が代表になって、廃校を舞台に開催。地域交流の場に
- ❸ 本州一遅い紅葉が楽しめる君津市の「亀山オータムフェスティバル」は10万人以上が集まります



圏央道 ゾーン

- ❶ **木更津市** きさらづし
産業振興課
木更津市富士見 1-2-1
☎ 0438-23-8519
<http://www.city.kisarazu.lg.jp/>
- ❷ **茂原市** もばらし
企画政策課政策推進室
茂原市道表 1
☎ 0475-20-1516
<http://www.city.mobara.chiba.jp/>
- ❸ **東金市** とうがねし
企画課
東金市東岩崎 1-1
☎ 0475-50-1122
<http://www.city.togane.chiba.jp/>
- ❹ **市原市** いちはらし
地方創生推進室
市原市国分寺台中央 1-1-1
☎ 0436-23-7244
<http://www.city.ichihara.chiba.jp/>
- ❺ **君津市** きみつし
企画課
君津市久保 2-13-1
☎ 0439-56-1566
<http://www.city.kimitsu.lg.jp/>
- ❻ **富津市** ふつつし
企画課
富津市下飯野 2443
☎ 0439-80-1223
<http://www.city.futtsu.lg.jp/>
- ❼ **袖ヶ浦市** そでがうらし
企画課
袖ヶ浦市坂戸市場 1-1
☎ 0438-62-2327
<http://www.city.sodegaura.lg.jp/>
- ❽ **山武市** さむし
企画政策課
山武市殿台 296
☎ 0475-80-1132
<http://www.city.sammu.lg.jp/>
- ❾ **大網白里市** おおみしらさとし
企画政策課
大網白里市大網 115-2
☎ 0475-70-0315
<http://www.city.oamishirasato.lg.jp/>
- ❿ **九十九里町** くじゅうくりまち
企画財政課企画係
山武郡九十九里町片貝 4099
☎ 0475-70-3121
<http://www.town.kujukuri.chiba.jp/>
- ⓫ **横芝光町** よこしばかりまち
企画空港課
山武郡横芝光町宮川 11902
☎ 0479-84-1279
<http://www.town.yokoshibahikari.chiba.jp/>
- ⓬ **一宮町** いちのみやまち
企画課
長生郡一宮町一宮 2457
☎ 0475-42-2113
<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp/>
- ⓭ **睦沢町** むつざわまち
まちづくり課
長生郡睦沢町下之郷 1650-1
☎ 0475-44-2501
<http://www.town.mutsuzawa.chiba.jp/>
- ⓮ **長生村** ちようせいむら
企画財政課企画係
長生郡長生村本郷 1-77
☎ 0475-32-4743
<https://www.vill.chosei.chiba.jp/>
- ⓯ **白子町** しらかこまち
総務課企画財政係
長生郡白子町関 5074-2
☎ 0475-33-2110
<http://www.town.shirako.lg.jp/>
- ⓰ **長柄町** ながらまち
企画財政課
長生郡長柄町桜谷 712
☎ 0475-35-2110
<http://www.town.nagara.chiba.jp/>
- ⓱ **長南町** ちようなんまち
企画政策課
長生郡長南町長南 2110
☎ 0475-46-2113
<http://www.town.chonan.chiba.jp/>

暮らしの“気になる”をチェック!

住環境・仕事

圏央道の開通でネットワークが広がり、これからの変化に期待! なこのゾーン。東京湾臨海部は日本を代表する工業地帯。都心から1時間以内に位置する「かずさアカデミアパーク」は、「かずさDNA研究所」や「独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター」など、最先端科学の研究施設があり、内陸部は工業団地も。農業、漁業、多彩な観光産業のほか豊かな農作物を利用して、レストランやカフェを営む人も目立ちます。



茂原市は新しい工業団地の造成も進み、企業誘致と雇用の場づくりに力を入れています

健康・医療

広域的な救急医療体制の拡充が進み、圏央道の開通で、救命救急センターや専門性の高い病院への所要時間が短縮。圏央道を搬送ルートとすることで、患者の負担軽減も期待されています。



写真上・高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供する「君津中央病院」(木更津市)。ドクターヘリもあります
写真左・地域を代表する医療機関「東千葉メディカルセンター」(東金市)



圏央道
ゾーン
移住者
インタビュー

山口拓也さん

●連絡先
 コワーキングスペース「まるも」
 〒299-1861
 千葉県富津市金谷3870
 ☎ 0439-29-6173

コワーキングスペース
 「まるも」の
 ホームページは
 右記QRコードから
 アクセス▶▶▶



富津市金谷には誰もが
自分に合った選択肢を
見つけられる場所があります。

山口拓也さんは、コワーキングスペース「まるも」を経営。地域の方と寄り添い、新たな移住者を受け入れながら、誰もが暮らすことができる場づくりを進めています。

 徒歩圏で生活できて、
海も山もある所という町はなかなかない

富津市金谷に2012年に移り住みましたが、金谷は徒歩圏で生活できるのが一つの魅力ですね。歩いて5分程度に飲食店も多くて観光客も多いのが特徴だと思います。それから都心と程よい距離、車でも電車でもいける場所というのはあまりありません。東京から2時間程度で、徒歩で生活が完結できるぐらいのコンパクト感がある町で、さらにそこにコワーキングスペースもあって、宿泊施設やゲストハウスがある。駅から近く、高速の出入り口もありながら、海も山もある所というまちはなかなかないと思います。



田舎でフリーランス養成講座を始めて
移住者が100人増えた

2015年から「田舎フリーランス養成講座」という講座を行っています。1か月地方に滞在してwebスキルを高めるといった内容で、合宿型のwebスクールです。現在は、いすみ市など8つの地域で、地元企業や行政からコワーキングスペースの提供を受けつつ年30回程度開催しています。プロジェクトを始めるきっかけとなったのが、富津市金谷にてコワーキングスペース「まるも」を始めたことです。元々は「まるも」の利用者を増やすことや田舎で仕事をできる人を増やすことを目的として始めました。金谷には今では、コワーキングスペースの他に、合宿施設やカフェ、アパート、シェアハウスなどもあります。金谷周辺は観光地であり宿泊客も多いので、自分たちで宿泊施設も建てました。また、仕事ばかりやる人中心だと交流の要素が減ってくるので、カフェを作ったりと徐々に広がってきています。今では、移住者が累計で100名生まれ、人が増えると、楽しいことも増えました。たとえば、フットサルもバスケットも試合ができるし、飲み会も参加したいときに参加すればいい。人数が少ないと、誰かと話したい時にも他の人は皆忙しいかもしれないけれど、今は人が増えたので選択肢が増えたと実感しています。



自分に合ったまちや仕事を見つけるために金谷という町は良い

「田舎フリーランス養成講座」を通じて移住する人が増えているけれど、人生の選択肢や本当に自分にあった地域を見つけていくと良いと思います。今は定住って意識ではなく、特に20代に関しては住む場所を決めるわけではないですし、金谷については、色々な人たちが集まるため情報も集まりますし、始まりの町というか、今後の人生の分岐点を手に入れるような町として来てもらえたらと思っています。

金谷にはフリーランスに興味がある人が多くいます。また、1週間から2週間のリフレッシュを兼ねてコワーキングスペースを利用する都内在住の方がいます。ゴールデンウィーク中などはワーケーションとしてくる方もいますね。

フリーランスになる人向けではありませんが、「人生の選択肢を増やす」をコンセプトにして講座を開いているので、分け隔てなく誰でも受け入れています。その結果、多種多様なコミュニティになったように思います。



副業やフリーランスが移住や地方で働くきっかけになれば

金谷で暮らす価値は、年収、性格、パーソナリティに左右されず、コミュニティに参加できることです。これは「まるも」だけでなく、地域の方を含めた「まち」としてのコミュニティです。

これほど多くの移住者が増えても、変わることなく基本的に誰でも受け入れてくれます。たとえばLGBTの方も比較的多かったり、半身不随の方もいます。そして、このコミュニティが徒歩圏で生活が成り立っていることに一番の価値があると思います。

これからは、個人が活躍できる仕組み、場所、風土を作っていけたらいいですね。「まるも」だけでなく町全体としてそういう風土が作れたらいいなという想いはありますし、各々が自分に合った選択肢を見つけることができるような社会になればいいですね。働き方の選択肢が増えるのは良い事なので、副業やフリーランスも地方で働く良いきっかけになればと思います。





**圏央道
ゾーン**
移住者
インタビュー

高橋洋介さん

●連絡先
市原市内で、
地域おこし協力隊として活動中
(市原市役所)
〒290-0073
千葉県市原市国分寺台中央1-1-1

Facebookから
メッセージを
送る場合は
**右記QRコード
からアクセス▶▶**



房総半島の一番奥地。
昔ながらの里山が広がり、
美しい景観を守る
取組があります。

高橋洋介さんは、自身はデザイナーでもあり、
市原市地域おこし協力隊として
市原南部の地域活性に取り組んでいます。

海も山もある所という町はなかなかない

活動している地域は房総半島一番の山間部です。千葉県の真ん
中で、山奥に当たる部分です。内房からは小湊鉄道、外房からは
いすみ鉄道、木更津方面からはJR久留里線という三つの鉄道
の終点の地域で、東京都から見れば房総半島の一番奥地に
あるのが、僕が主に生活したり活動したりしている地域です。



菜種油の利益でこの場所を維持していく

現在は地域おこし協力隊として、小湊鉄道沿線の菜の花の活用
や市原市内の牛久商店街の皆さんと商店街活性の取組を行って
います。この活動を始めた理由は、「石神菜の花畑」の保全です。
本当に素晴らしい場所です。

この石神菜の花畑を見に来た人に採れた菜種油を買ってもら
う、その利益でこの場所を維持していくという活動を2018年
の春にスタートしました。3月～4月の菜の花が咲く時期に予約
を受け付け、5月～6月に収穫した菜種から油を搾り、搾りたて
の菜種油を発送ということをし、最初の1年目は行っていました。
菜種油を味わうことでより興味を持ってもらい、菜種油に冊子
を同封して花畑ができるまでのストーリーを読んでもらい、菜
種油の味を覚えてもらい、興味が深まったら次は種まきや種取
りにも来てもらい、知ってもらうという活動です。「種まきやっ
てるんだ！種取りまでやってるんだ！じゃあ行ってみよう」と
言って来てくれる方が増えると良いと思っています。



地元の方々が一緒になって教えてくれて、 自然な感じで教え合う形になった

始めたきっかけは、ただ単純にすごく綺麗で、ここは絶対に残りたいなと思った時、維持管理しているのが地域の年配の方3、4人で、「あと1~2年で終わりだね」と話されている状態でした。過疎地域なので若い人がいないし、ボランティアで維持できるほど簡単でもなかったのです。

今では、これまで種蒔きや種取りに関わる人達は、次第に若い人たちが増えてきています。種取りの時には唐箕(とうみ)や篩(ふるい)といった昔の道具を使うんですが、若い人たちが来た時に、地元の方々が一緒になって教えてくれて、自然な感じで教え合う形にもなり始めました。農業でも同じですが、年配の方は凄く良いものを作れます。その知恵や知識を広く伝えるためにも若い人が関わった方がいい部分は多いです。そして、様々な世代の得意なところを掛け合わせた時に、より良いコミュニティになり、良いものが生まれていくんじゃないかなと思っています。地元の方々には、具体的に言われてはいたのですが、必然的に「こいつがあとやるんだな」みたいになっています(笑)



汗をかく農的な仕事をやったからこそ、 デザインに活かせることが増えてきた

ちなみに僕はデザイナーとしてどこでも仕事できるようなこともやりつつ、こういう農的なことをやっていますが、汗かく農的な仕事をやったからこそ、デザインにも活かせるようなことが最近増えてきたと感じています。デザイナーとかウェブ関連等、パソコンを使うような、場所に縛られずできる仕事をする人が移住してきた時には、1つの仕事だけをするのはもったいないと思っています。

週に数回、ここでしかできない仕事みたいなものを自分で作り出せると、仕事に対するフィードバックも大きいです。だから、そういう人たちが多く来て欲しいなと思います。デザインの力を使って田舎で事業を作る人がいたらいいなと思います。

